



12月10日におこなわれた要請行動

## 要請内容(抜粋)

- 一、保護者の就労や所得に関わりなく教育を受けられるよう、OECD加盟国並みの水準を確保するよう国に要請するなど、教育の水準・機会均等を保障する教育予算を拡充すること。
- 二、阪神・淡路大震災および東日本大震災の検証をふまえた兵庫の防災(減災)教育の充実など予算措置をおこなうこと。
- 三、「人権教育基本方針」「兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針」「外国人児童生徒にかかる教育指針」の具現化をはかるための予算を拡充すること。
- 四、すべての希望する生徒に高校教育を保障し、受験競争の緩和、多様な学びを可能にする魅力ある高校づくりをすすめるとともに、子どもの進路に関わる具体的な施策を推進すること。
- 五、法改正に伴う「教育委員会制度」については、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保すること。
- 六、学校の統廃合問題については、地域住民の意見を十分に反映し、教育条件の低下を招かないよう慎重に検討するとともに、教職員定数の激減緩和措置を継続すること。

兵教組は、ゆたかな教育の創造をめざす兵庫県民会議・連合兵庫とともに「兵庫の教育をよくする県民署名」にとりくみ、266,502筆(1月15日時点)の署名が集約された。

12月10日に県民のみな

し、県議会議長・県議会各

会派・県教委に対しても要請

行動をおこなった。

また、15日には吉本副知

事に対し要請書を提出し、

県議会議長・県議会各

会派・県教委に対しても要請

行動をおこなった。

12月10日に県民のみな

し、県議会議長・県議会各

会派・県教委に対しても要請

行動をおこなった。

また、15日には吉本副知

事に対し要請書を提出し、

県議会議長・県議会各

会派・県教委に対しても要請

行動をおこなった。

12月10日に県民のみな

し、県議会議長・県議会各

会派・県教委に対しても要請

行動をおこなった。

また、15日には吉本副知

事に対し要請書を提出し、

県議会議長・県議会各

